

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	ふれあい収集事業(西部クリーンセンター)	所管	環境クリーン部 西部クリーンセンター 収集課
			Tel 2948-3141

事業の目的 (何の為に 行うか)	高齢又は障害等により家庭から排出するごみを、自らがごみ集積所へ出すことが困難な者に対し、市が利用者宅の戸口先において直接ごみを収集する業務。
------------------------	--

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	高齢、障害があるなどの単身者及びその他市長の認める者	対象とした数	150	人
		実際に 利用した数	146	人

活動の内容 (何を したか)	<p>○家庭ごみの分別方法に従い、分別されたごみを指定されたごみ袋に入れ、1週間に一度指定した曜日に自宅の戸口先に排出されたごみを収集する。[火曜日]三ヶ島・北中地区[水曜日]山口・上山口・荒幡地区[木曜日]北野・上新井・西所沢・小手指地区[金曜日]新所沢・富岡地区</p> <p>○利用者からの希望があった場合は、収集と同時に利用者に声をかけ安否確認を行う。</p>							
	活動実績	項目名	年間利用者数	146 ----- 単位 人	項目名	年間利用予定者数	150 ----- 単位 人	項目名

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	314	174	24,411	72.0

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	利用率	年間利用者数 ÷ 年間利用予定者数	150 ----- 単位 人	146 ----- 単位 人	97.3 ----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ 拡充 縮小 統合 * 改善・効率化 改善余地なし その他 []
		終了 ⇒ 事業完了 終了 休止
	予算	* 現状どおり 増額 減額 終了

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了					
	総合 評価	拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他 []	終了			
	予算	現状どおり 増額 減額 終了				

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当	部課コード	051100	TEL	2948-3141
事業コード	ふれあい収集事業(西部クリーンセンター)	環境部	環境クリーン部	西部クリーンセンター	収集課	
051102		グループ	収集グループ			
開始年度		平成 17 年度	→	終了年度	平成 年度	

②事業の概要	事業の種類別	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input type="checkbox"/> 法定受託+附加	根拠法令	
	分野別計画・指針	所沢市一般廃棄物処理基本計画			廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市ふれあい収集実施要綱	
	関連・類似事業	ふれあい収集事業(東部クリーンセンター):東部クリーンセンター収集事務所				
	総合計画の体系	政策	第1章 緑豊かな ゆとり・うるおいのあるまち	施策	4節 廃棄物・リサイクル 中柱 2 適正処理の拡充 小柱 (3) 収集体制の整備	
	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 4 位		・実施計画における位置づけ… H19 ○ H20 ○			
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ					
	コード	1111	市民の知りたい情報の提供	コード	3621	事務改善活動等の充実・強化
	事業開始の背景	高齢者社会に対応した市民サービスの一環として、ふれあい収集事業を平成17年4月1日より開始した。				

③事業の内容	目的(何のために行うか、具体的に)									
	高齢又は障害等により家庭から排出するごみを、自らがごみ集積所へ出すことが困難な者に対し、市が利用者宅の戸口先において直接ごみを収集する業務。									
	対象(誰を、何を対象としているのか)			利用数の考え方						
	高齢、障害があるなどの単身者及びその他市長の認める者			要件該当者数(申込みによるもの)						
	対象数	単位	平成 18 年度	150	人	利用数	単位	平成 18 年度	131	人
			平成 19 年度	150	人			平成 19 年度	146	人
	事業の具体的な内容及び実施方法									
	○家庭ごみの分別方法に従い、分別されたごみを指定されたごみ袋に入れ、1週間一度指定した曜日に自宅の戸口先に排出されたごみを収集する。[火曜日]三ヶ島・北中地区[水曜日]山口・上山口・荒幡地区[木曜日]北野・上新井・西所沢・小手指地区[金曜日]新所沢・富岡地区 ○利用者からの希望があった場合は、収集と同時に利用者に声をかけ安否確認を行う。									

④前年評価と改善点	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		≪ 最終評価 <input checked="" type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ≫	
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])		
		<input type="checkbox"/> 終了 ⇒ (<input type="checkbox"/> 事業完了 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 休止)		
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了		
	平成19年度中に改善した点			
	年末年始の収集日程により、通常どおりの収集した場合13日間収集がないため、市民サービスの観点から12月31日と1月4日に特別収集を行った。			

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		180	314	137	
	決算(見込み含む)		423	174		
		(嘱託職員) (臨時職員)	(人) (人)	(人) (人)		
	正規職員人件費		2.65 人 24,380	2.58 人 24,237	※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。	
	公債費					
	事業費合計		24,803	24,411		
	財源内訳	一般財源		24,803	24,411	137
		国・県支出金				
		受益者負担金				
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		73.4	72.0			
利用数一単位あたり(単位:円)		189,335.9	167,195.3			

⑥指標	項目名	計算方法	単位		H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	年間利用者数	利用者数	人	/	131	146		
		年間利用予定者数		人		150	150		
	成果分析	利用率	年間利用者数÷年間利用予定者数	人	目標値	150	150	160	
%				実績	131	146		実績値の拡大を図る1	
%				達成率	87.3	97.3		実績値の縮小を図る2	

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		市	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
	他事業との整理・統合	類似・関連事業などとの整理・統合	受益と負担の関係	受益者負担の有無	見直しの必要性
<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input checked="" type="checkbox"/> 類似事業がない <input checked="" type="checkbox"/> 統合等必要なし		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
	明らかとなった課題	平成17年度から実施した当初の利用者は93人であったが、平成20年度は150人を超えると予測されることから、一週間の収集日数の見直しが必要になった。			
	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)	時期(いつまで)		
	平成20年度における目標設定	一週間における収集日数	月曜日も実施し、週5日とする。	21年3月末	
	平成21年度における事業の方向性				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [])			
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了			
	評価理由	利用者の伸び率は18年度に比べ11.5%となっており、利用者には好評を得ている。高齢化社会の到来とともにこの事業の必要性は高まるものと思われる。			
	評価日	平成20年5月8日	記入者職氏名	課長 吉田 上	

⑧二次評価	平成21年度における事業の方向性							
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 [] <input type="checkbox"/> 終了						
	予算	<input type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了						
	評価理由	評価日						
⑨評価	次年度用事前評価	部内優先順位… 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
		見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
		市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価理由	評価日						

⑩個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り		計画コード	322	323
	施策の体系	3-2資源循環の促進	3-2-2リユース・リサイクルの推進			
		3-2資源循環の促進	3-2-3廃棄物の適正処理			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し		計画コード		
基本目標						
主要課題						
施策の方向						